

前橋市DX推進計画に基づくWG活動報告等について

- 1 WG活動の全体像
- 2 活動報告会の実施及び動画公開
- 3 幹部職員（部課長級）を対象とする講演等の実施

1 W G 活動の全体像

R3.10.14 前橋市 D X 推進委員会における議論（資料抜粋）

総括（上半期で得られた教訓）

- D X とは「デジタル化を手段として変革を進めること」
- これからの市役所の組織や制度はどうあるべきか、デジタル技術とデータをいかに活用し、どう住民サービスの実現・向上に貢献できるか、といった、将来の姿を議論し、実現に向けた具体的な行動を起こすことが必要。
- その一方で、重点事業の推進状況から得られた示唆は、
 - ・ 将来の姿を検討・具現化する業務は、既存事業とは異なること
（未来志向、分野横断の規範を作る、全体の利益を追求し創造する）
 - ・ 既存事業とは切り離れた、新規事業に取り組むための時間（人）や予算のあり方を考えなければ、D X は加速できない。

**D X（変革）を加速させるためには、組織として、
時間や予算を新たに作り出さなければならない**

R3.10.26 庁議報告（庁内横断的な W G 活動の拡充、活動への理解・協力を依頼）

【WGの活動一覧】

WG名	目指す未来
①行政手続オンライン化 WG	3ない窓口 （書かない、待たない、行かない）
②マイナンバーカード普及・活用 WG	DXのスタートライン（ デジタル上 で自己を 証明 ）
③財務・文書システム WG	ペーパー レス 、はんこ レス
④官民データ活用 WG	データ駆動 型社会
⑤コアネットワーク（外で働く） WG	現場で仕事 が完結する
⑥業務システム（健康・福祉） WG	住民のくらしを支える 専門職 が つながる
⑦業務システム（予約システム） WG	カウンター レス 、帳簿 レス 、キャッシュ レス 、キー レス
⑧BPR（RPA）推進WG <small>Business Process Re-engineering Robotic Process Automation</small>	自分の部下 を自分で増やそう
⑨ミライズ策定 WG	これからの 時代に合った 形に見直す
⑩ABW（新議会棟）WG <small>Activity-Based Working</small>	場所や時間に捉われない 自由な働き方
⑪窓口 WG	行政手続オンライン化後の 窓口のあり方
⑫地域社会のDX推進 WG	共助のあり方 を再構築
⑬デジタルデバイド解消 WG	誰も 取り残 されない

【WGにおける仮説検証例】 ※全13WGの詳細は別添資料を参照

WG名	デジタルデバイド解消WG							
項 目	内 容							
①実現したい未来	年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、誰も取り残されない形で、市民にデジタル化の恩恵（日常の困りごとが解消されたり、今よりも暮らしが便利になったと実感できる）を広く行き渡らせること。							
②背景・現状	<ul style="list-style-type: none"> ・個人のインターネット利用率は約9割（89.8%、令和2年版総務省情報通信白書）。 ・その一方で、利用目的は情報検索やメールの送受信などの限定的利用に留まっている。 							
③課題	世代を問わずインターネット環境には親しんでいるものの、その活用に関する理解やスキルが十分でなく、デジタル化の恩恵が広く享受されていない。							
④原因	<ul style="list-style-type: none"> ①利便性を感じていない（面倒、難しい、使いづらい、使いたいと思わないなど） ②利用環境がない（知らない、不安、学ぶ機会がないなど） 							
⑤解決策	希望する市民が身近な場所で相談や学習を行える環境を構築する							
⑥得られる効果	生活の利便性向上、多様な選択肢提供、地域内でのコミュニケーションや社会関係の補完							
⑦R3年度の取り組み	<p>市内全域でスマホ講座を実施：計164講座（2,429名）</p> <table border="0" data-bbox="726 1096 2102 1246"> <tr> <td>①総務省デジタル活用支援推進事業、企業との連携</td> <td>64講座（979名）</td> </tr> <tr> <td>②介護予防サポーターのICT能力向上を目的に開催</td> <td>39講座（550名）</td> </tr> <tr> <td>③市自主事業（全13公民館）の推進</td> <td>61講座（900名）</td> </tr> </table>		①総務省デジタル活用支援推進事業、企業との連携	64講座（979名）	②介護予防サポーターのICT能力向上を目的に開催	39講座（550名）	③市自主事業（全13公民館）の推進	61講座（900名）
①総務省デジタル活用支援推進事業、企業との連携	64講座（979名）							
②介護予防サポーターのICT能力向上を目的に開催	39講座（550名）							
③市自主事業（全13公民館）の推進	61講座（900名）							
⑧今後の展開 （スケジュール）	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを地域で循環させる持続可能な仕組みづくり ・安心してICTを活用できる環境づくり 							

WG名	⑨ミライズ策定WG (Maebashi innovative radical improvements)
------------	--

項 目	内 容
①実現したい未来	自治体の本質的な使命実現のため、職員でなければできない企画立案業務や住民への直接的なサービス提供に注力できること。
②背景・現状	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数が減少する中で、市役所の役割は複雑化・多様化し、業務は質・量ともに増大。 ・さらには、2040年問題（全国で高齢者人口がピークに達し、労働力不足が深刻化する）への備えとして、従来の半分の職員で本来担うべき機能を発揮できる仕組みが必要。
③課題	企画立案業務や住民への直接的なサービス提供以外の業務に多くの時間を費やしている。
④原因	業務の意義や目的（そもそも）を理解しないまま、前例踏襲により運用しているから。
⑤解決策	現在の業務運用について、本来の意義や目的（そもそも）に立ち返りながら、これからの時代に合った形に見直し、職員間の新たな価値基準やルールを作る。
⑥得られる効果（予測）	例 係長決裁：年間1000万円の費用削減 会議：会議にかかる時間を半分にする テレワーク：場所にとらわれない、多様な働き方の実現
⑦R3年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の洗い出し ・3つのテーマ（①会議のあり方、②事務決裁規程（係長決裁）、③テレワーク）を設定し、あるべき姿や解決策を検討
⑧今後の展開 （スケジュール）	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度検討テーマの実践（効果検証、制度所管課等との調整） ・新たなテーマ設定と実践 ・取組全体にかかる庁内展開の検討・実践（ミライズ策定）

2 活動報告会の実施及び動画公開

【WG活動（DX推進員）の年間サイクル】



①研修

②課題抽出

④振り返り

③仮説検証



WG活動報告



【DX推進員】課題抽出シート

本シートは、これからの時代に目指すべき市役所の家（イメージ例）や、その実現に向けて今後提供を予定する環境や道具をお示ししながら、現在の業務をどのように変革できるか検討いただくために作成するものです。
現在の業務側の課題をこれからの時代に目指すべき市役所の家（別添の抜粋資料を参照）に当てはめて検討していただき、該当する課題をチェックの上、項目にお答えください。

1. 合致したり、適応できると考えられる業務が思い浮かびましたか？
 はい→以下並びで回答してください いいえ→調査は終了です

2. 該当する業務名及び内容（現在とデジタル化後）を記載してください

業務名	内容	
	現在 (Before)	デジタル化後 (After)

3. （業務は思い浮かんだものの課題を認識している場合や上記2で「デジタル化後」を記載できなかった場合）、ギャップ（隔たり）があると感じた内容や理由を記載してください

業務名	ギャップ（隔たり）があると感じた内容や理由



④振り返り

1 活動報告会の実施

- (1) 目的：WG活動への理解、所属での主体的な活動促進
- (2) 日時：令和4年2月28日（月）
- (3) 方法：
 - ・大野副市長、未来創造部長へのプレゼン形式
 - ・まん延防止等重点措置期間中につき、参加者を限定したうえで、一連の様子を動画に収録
- (4) 対象：
 - ①業務システム（健康・福祉）WG
 - ②ミライズ策定WG

2 動画公開

活動報告会の様子は、市公式youtubeで公開



https://www.youtube.com/watch?v=yd5KVi8vZ1M&ab_channel=%E5%89%8D%E6%A9%8B%E5%B8%82

3 幹部職員（部課長級）を対象とする講演等の実施

日時	令和4年4月18日（月）14：00～16：00
場所	前橋市総合教育プラザ（岩神町）
対象	部課長級職員 約100名
次第	<ol style="list-style-type: none">講演 株式会社NTTドコモ 相談役 吉澤 和弘 様 テーマ：幹部職員のマインドセットの変革ワークショップ 各部に分かれ、講演内容を踏まえたワークショップを予定

※詳細につきましては、4月の庁議でお示しするとともに、別途出席者へご連絡予定